


滋賀大学教育学部附属幼稚園では、少子化に伴う幼児教育施設の規模縮小によるOJTの課題や、保育園・認定こども園における研修機会の確保という課題に対応して、県内外の就学前施設及び小中学校教職員が学び合える場として、「保育力・教師力 UP セミナー」を企画し、令和7年度中に2回開催しました。

「運動遊びで育みたい資質・能力を共に考える」参加者39名

小学校体育科の視点から、幼児期に大切にしたいことについて考えました。小学校学習指導要領「体育」から学習の目標を共通理解し、附属小学校運動会の実践発表の後、これからの運動遊びについてシンポジウムを行いました。



保育者・教師の資質・能力向上
非日常の対話から気づく・学ぶ
主体的・対話的で深い学びを支える

保育力・教師力 UP セミナー
「運動遊び」
を通して育みたい
資質・能力を
共に考える

運動は好きなほうだ。
たいていのことはそれなりにできる。
でもあまり足は速くない。
つまり、ぼくは「運動神経」はいいが「運動能力」
はあまり高くないというタイプなのだ。

ある園で遊戯室で跳び箱に並んでいる5歳児の
列に入ってみた。
順番が回ってきたので、ぼくはおもむろに跳び箱
に跳び乗って、力いっぱい「やー!」と大声をあ
げてかなり速くへと、かっこよく跳び下りた。
後ろに並んでいた男の子が
「せんせい、そのとびかたはまちがっているよ」
そう言って、開脚跳びを見せてくれた。

いや、ぼくは、けって間違っってなんかいらない。
そうだろ? 「運動遊び」って、なんなんだよ?

ご参加いただける方はforms QRコードからお申し込みください。
多くの方のご参加お待ちしております。お問い合わせはお越しください。
車でお越しの方は附属小学校会議室 幼稚園駐車場をご利用ください。
問い合わせ 大矢 a-ooya@edu.shiga-u.ac.jp 077-527-5257

日時 令和7年9月13日(土)
9:30~12:00(12:30)
場所 滋賀大学教育学部附属幼稚園
なかよしホール

内容 ① 学習指導要領解説から
「体育科」をひもとく
附属幼稚園 大矢
② 「附属小学校の取組」
附属小学校体育科
③ グループディスカッション
④ シンポジウム
「体育 - 遊び - 運動」
志賀北幼稚園 角口 純野 先生
堅田小学校 渡 晋一 先生
志賀小学校 村部 謙介 先生
and more...

<https://forms.office.com/r/KB4HeKriPwH>



小学校2年生体育、運動会に向けての実践発表があり、幼・保・こ教職員が小学校体育科の実際を学ぶことができ、その視点から就学前の運動遊びの在り方について考える場となりました。協議の中で紹介された「体を動かすと、体だけではなく心もぼかぼかするんだよ」という子供の声に、小学校体育科、運動遊びのすべてがあると感じました。

普段、自分ではなかなか紐解けない体育科学習指導要領の概要解説をしていただいただけ、大変勉強になりました。学校の先生方は「6年間の学びを見通して…」とよく言われますが、体育科では、豊かなスポーツライフを実現することも目標にあることを知り、アップデートしていかないと感じました。附属小の取り組みでは、遊びの拡張で授業展開されていて、2年生の学びのスタイルとして理想のように思えました。「遊びとは何か」という部分が学校の先生の中には難しい方もいらっしゃるんだろうな…と感じています。体育の授業を連携で参観したこともありますが、いろいろな実情があっただけで…やはり一律に同じ

活動で、1.2年生合同で…など、実態としてもシンポジウムにも、あったように体育は軽視されがちなんだなと思いました。(参加者より)

「幼児期から架け橋期の運動遊びと指導」参加者46名

附属特別支援学校体育館を会場に実技と講話を交えたセミナーを開催しました。保護者と幼児の参加があり、教員だけで実技をするよりも子供がどのように動くのかということが実際に見ることができ、対象となる幼児児童参加のセミナーのおもしろさがありました。

附属幼稚園発「明日やってみよう」運動遊び



遊びは楽しい、体を動かして遊ぶことは楽しい、やってみよう! おもしろい! もっとしたい!
楽しく体を動かして遊ぶ。多様な動きを経験する。試行を繰り返してトライする。
どんどん楽しくなっていくのが「遊び」。そして「遊び」は「学び」。
コーディネーション能力を育む、附属幼稚園発「明日やってみよう」運動遊び。
きっと、明日の授業・保育でやってみたくなるはず。ぜひ! ご参加ください。

保育者・教師の資質実習・能力向上非日常の対話から気づく・学ぶ 主体的・対話的で深い学びを支える
教師力・保育力 UP セミナー

幼児期から架け橋期の運動遊びと指導

実技とおはなし(見学も可) 講師 大矢 明 附属幼稚園副園長

期日 令和7年12月20日(土)

時間 9:30~12:00

場所 滋賀大学教育学部附属
特別支援学校体育館

内容 ① 4・5歳児から小学校低学年
の運動遊び 実技と講話
(体つくりの運動遊び)

② 長縄跳びの回し方のコツ

準備・動きやすい服装

・室内用運動靴

・飲み物



所在地 大津市園川3丁目9-1
JR 越前線 曲町駅より徒歩 25分
京阪石坂線 滋賀聖蹟より徒歩 15分
申込フォーム <https://forms.office.com/r/ql9XQDZTVC>
問い合わせ 滋賀大学教育学部附属幼稚園 大矢
Mail a-ooya@cdu.shiga-u.ac.jp
090-3168-7191

駐車場あり!



まずは子どもの発達段階をしっかりと理解、把握することが大切だということを感じました。また、保育をする側の柔軟な考え方や対応力の必要性を感じました。柔軟な考え方や対応力は、運動遊びだけでなく、保育全般に通じていることだと思います。保育を改めて考える上で、他の職員にも参加してほしいと思う研修でした。セミナーでは子どもの楽しい、おもしろい、やりたい世界が広がる遊びをいつも具体的に言葉や実践して教えてください、大変勉強になります。心が動くと体が動く 私もこの研修で学んだこと、周りの職員と共有して、保育を楽しみたいです。(参加者より)

就学前から学校教育にいる子供の“いま”と“これから”をつなぐ

附属幼稚園をハブとした学びの往還をめざすセミナーへ

保育力・教師力 UP セミナーは、幼児教育から学校教育へ子供たちが歩いていく教育の接続・継続を探究する機会としての位置づけとなっています。幼児教育を小学校教科の視点から俯瞰する取組、校種を超えたトークセッションなどによって、参加者からは大いに学ぶことができた感想をいただくことができました。研究と実践を縦横につなぐハブとなる役割を担うことができるように取組の工夫を重ねていきたいと考えています。